

## 令和3年度第3回政策委員会 次期障害者総合支援計画策定のためのアンケートに関する主な意見

※主な意見を取りまとめたもので、いただいた意見を全て掲載しておりません。

番号	ご意見の概要	該当調査票	ご意見についての考え方
1	視覚障害者向けに調査票配布の際、電子データでの回答も可能である旨の明記をすべき。	身体障害	ご希望に応じて、ワードデータの調査票をメールでお送りする旨を郵送による調査票配布の際に明記いたします。
2	視覚障害者が音声版を聞きながら紙に書くことは難しいため、電話対応等で補助してほしい。	身体障害	ご自身の調査票への記入が難しい場合には、区役所で代読代筆で対応させていただきます。
3	盲ろう者の方がアンケートの回答が難しい。	身体障害	盲ろう者の方のアンケート回答は困難であることは認識しておりますので、今後継続的に検討してまいります。
4	障害を合わせて持つ方もいるため、アンケートにすべての障害名を列挙し、該当に○をつけるのであれば、より実態を把握できる。	全般	今回のアンケートから、調査票を分けて1種類の調査票とし、重複して障害をお持ちの方の意見を伺ってまいります。特に、医療的ケアや発達障害、高次脳機能障害など、手帳のデータからは抽出が難しい方からの回答もより多く回収できるものと考えます。
5	「手帳を利用して働いているか」の項目は発達障害に限らず、それぞれの調査票に設問を入れるべきではないか。	全般	今回のアンケートから、調査票を分けて1種類の調査票とし、重複して障害をお持ちの方の意見を伺ってまいります。当該項目についても、あらゆる障害の方にご回答いただけるようにします。
6	「手帳を利用して働いているか」の表現は違和感があるため「障害を開示して働いているか」に変えるべきではないか。	全般	表現について、意見を参考に變更いたします。
7	前回（令和元年）と同様に抽出とは別に、区役所にもアンケートを配置するのか。	全般	今回も、調査集計には反映されませんが、調査に回答したいという方に対して、配布予定の6,500部とは別にご意見をいただくこととし、区役所窓口で調査票を配布いたします。
8	手帳所持者数について、知的障害の方の母数は減少しているが、障害福祉サービス利用者は知的障害の方が他の障害の倍くらいの人数となっている。今後の抽出にあたって継続的に検討すべき。	全般	継続的に検討することといたします。
9	精神科病院に長期入院の患者は重度慢性の方が多く、アンケートに答えられない方が多いと考えられる。精神障害者を入院例と入院外に分けるより、調査項目として入院中であるかどうかを加えるだけでよいのではないか。	精神障害	今回のアンケートから、調査票を分けて1種類の調査票とすることで、精神障害者を入院例と入院外に分けず、調査項目として入院中であるかどうかの設問を追加します。
10	精神科病院の長期入院は大きな課題であるため、精神科病院の入院患者からの回答率が低かったのであれば、回答数を上げる工夫をすべき。	精神障害	今回のアンケートから、調査票を分けて1種類の調査票とすることで、精神障害者を入院例と入院外に分けず、調査項目として入院中であるかどうかの設問を追加します。抽出した精神障害者の中で入院中の方へもアンケートが配布されるケースが見込まれるため、送付する件数が増えることも想定されるため、アンケート回収後に回答数を上げることができたかの検証を行います。
11	アンケートの文言をわかりやすく工夫した方が良い	全般	ご意見を踏まえ検討します。
12	今後の生活について、親、ご本人の課題になるので、設問を設けてほしい。	全般	令和元年度の「今後の生活」は、精神科病院に入院されている方の退院支援に関する調査項目となっております。しかしながら、あらゆる障害の方にとって、今後の生活はとても重要な課題であると認識しております。今回のアンケートから、調査票を分けて1種類の調査票とすることで、設問項目が多くなるため、過去にあった設問の内、現状と照らし合わせて削除する、設問項目を統合する等回答率を下げないため設問を見直しをしております。ご意見を踏まえ実態の収集と回答率の向上の2点のバランスを取りながら検討します。
13	アンケートをスマートフォンでLINEと同じ仕組みを使うことはどうか。	その他	インターネットでの回答について検討いたしました。今回のアンケート調査については、郵送のみでの回答としました。今後の検討の材料とするため、アンケート項目にインターネットによる回答の意向調査を実施します。